



3月定例会

豊川市議会第1回定例会（3月定例会）は、2月21日から3月17日までの25日間にわたって開かれました。

3月定例会では、市長から平成15年度一般会計予算を始めとする各会計予算、条例の一部改正・制定など47議案のほか、諮問が1件提出されました。また、議員発議の議員派遣が1件提出されました。

平成15年度各会計別予算（単位:万円、%）

会 計 別	平成15年度	平成14年度	前年比
一 般 会 計	351億8,000	347億1,000	101.4
特 別 会 計	281億9,680	286億1,500	98.5
豊川西部土地区画整理	11億7,600	11億9,640	98.3
豊川駅東土地区画整理	12億 230	11億8,310	101.6
公共下水道	38億 600	39億1,000	99.7
農業集落排水	5,040	4,730	106.6
公共駐車場	4,440	2億3,070	19.2
国民健康保険	85億7,550	79億2,650	108.2
老 人 保 健	87億7,780	90億6,450	96.8
介 護 保 険	36億2,000	33億9,480	106.6
在宅介護支援	1億8,270	1億8,020	101.4
交通災害共済	4,170	4,050	103.0
土 地 取 得	7億2,000	14億4,100	50.0
企 業 会 計	140億6,968.1	137億2,214.5	102.5
水 道	35億9,660.1	37億 860	97.0
病 院	104億7,308	100億1,354.5	104.6

議案の内容

三月定例会と五月臨時会で審議した案件は、七〇左側の一覧表のとおりです。その主な内容についてご紹介します。――（定例会関係四一六頁、臨時会関係七二頁）。

■新年度予算

定例会の冒頭、市長から①～⑭議案を総括した施政方針並びに予算案大綱の説明がありました。

（予算編成概要）市税収入の落ち込みから厳しい状況での予算編成となったが、市制施行六十周年記念事業、子育て支援、教育環境の整備など、明日の豊川市を担う人づくりや、防災対策、環境問題、高度情報化など、時代の求める課題に対応するため、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めた。（主な施策）个性的で魅力あるまち

づくり――豊川西部・豊川駅東土地区画整理事業の推進、道路拡幅改良事業の推進、市営穂ノ原住宅（仮称）の整備など。快適でうるおいあるまちづくり――新斎場会館建設による豊川宝飯衛生組合への負担金、公共下水道事業の推進、民間木造住宅の耐震改修補助事業の創設など。人にやさしく笑顔あふれるまちづくり――市民病院の医療機器等の購入、乳幼児医療費の受給対象者の拡充、御油保育園改築事業など。文化の薫る心豊かなまちづくり――南部中学校校舎改築事業、三河国分尼寺跡整備事業、全国童謡・唱歌サミットinとよかわの実施など。活力にぎわいあふれるまちづくり――商工業振興資金融資制度の実施、経営構造対策事業への補助、企業立地促進への補助など。

■補正予算

⑮一般会計補正予算（第六号）は、市道諏訪三丁目十二号線の整備のため、一億一千三百七千円を追加するものなどです。

⑯老人保健特別会計補正予算（第四号）は、診療報酬と薬価のマイナス改定などにより、一億七千九十万円を減額するものです。

■条例の一部改正

⑰職員定数条例の一部改正は、職員定数の適正化を図るため、市長の事務部局の職員を七人減らし千六十七人に、教育委員会の事務部局の職員を八人減らし八十九人に、また消防部局の職員を四人増やし、百七十五人とするものです。

⑱視聴覚ライブラリー条例の一部改正は、生涯学習の施設としての機能の充実を図り、名称を「豊川市地域情報ライブラリー」に改めるとともに、設置場所を勤労福祉会館から豊川市中央図書館に変更するものです。

■条例の制定など

⑳市議会議員の附属機関への参画の見直し等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定は、議会と執行機関との独立性を相互に尊重するため、多くの附属機関について市議会議員の参画を取りやめるものです。

㉑ペイオフにおける公金の保全等を図るための関係条例の整備に関する条例の制定は、財政調整基

金を始め十四基金について、金融機関が破綻したとき、その預金債権と市の借入金とを相殺して市のペイオフでの損害を減少させるため、基金を一般会計等に繰り入れるなどの方策を講じるものです。

■ 44 市の特定事務を郵政官署において取り扱わせることに關する協議は、平成十五年九月から御油郵便局を始め市内六カ所の郵便局において、戸籍謄本、住民票の写しなどの受付及び引き渡し事務を取り扱うことができるための規約を定めるものです。

■ 契約案件

④3 穂ノ原住宅（仮称）整備工事のうち建築工事請負契約の締結は、穂ノ原一丁目地内に、市営住宅を一棟（二DK―九戸、三DK―五十二戸）建設するものです。

■ 人事案件

諮問①人権擁護委員候補者の推薦は、西口茂氏（三蔵子町）、鈴木サク子氏（西豊町）、後藤みわ子氏（桜木通）、平井千里氏（八幡町）を再度推薦することについて意見を求められたものです。

議案の審査

■ 本会議における主な質疑

★★ ⑮ 議案 ★★

（質疑）豊川駅東区画整理事業の用地取得費について、取得金額が高く、清算時に問題がないか。

（答弁）今回の取得金額は、今まで

の平均から比べると高めだが、全体では現在の実勢価格ぐらいと考える。精算金の単価は、現時点では未定だが、清算時点での相続税、固定資産税、路線価などをもとに決定していく。

■ 委員会における主な質疑

総務文教委員会

★★ ⑳ 議案 ★★

（質疑）今回追加された政治倫理審査会に出席した関係人以外で、他に実費弁償を支給するケースは。

（答弁）現時点では他にないが、将来的には審議会などで学識経験者等の出席を依頼し、支給することもある想定される。

★★ ㉓ 議案 ★★

（質疑）勤労者体育センターと豊川市体育センターとの名称統一に合わせて、旧勤労者体育センターの使用料を、一般利用より低料金の



豊川市体育センターの名称に統合される勤労者体育センター

勤労者料金に統一する理由は。

（答弁）従来から利用者のほとんどが勤労者であり、現在の利用者の負担増とならないよう配慮した。

★★ ㉔ 議案 ★★

（質疑）土地開発基金の減額による今後の土地の取得への対応は。

（答弁）近年は学校や病院の借用地がほとんどで、社会・経済状況や行政上の施策などを考えると、今後の土地の取得費の大幅増は見込めないもので、基金を減額しても対応できる。

厚生委員会

★★ ㉑ 議案 ★★

（質疑）住民基本台帳カードの交付手数料を五百円とした理由と、近隣の状況は。

（答弁）交付手数料は五百円程度が適当と国が示したため、全国的にも五百円であり、近隣市町も同様と聞いている。

★★ ㉕ 議案 ★★

（質疑）乳幼児医療費の改正で、四月生まれと三月生まれの子では、約一年間の適用期間の差が生じることの認識と、今後入通院とも無料にする考えは。

（答弁）産まれ月によって不合理が生じること事実は、小学校入学という社会通念上の一つの区切りから、ご理解いただけたらと考えている。通院の拡大は、県下や近隣市町の状況を踏まえ真剣に検討していく。



施設管理の委託先を変更する交通児童遊園

★★ ㉔ 議案 ★★

（質疑）交通児童遊園の施設管理を施設管理協会から保育協会に変更する理由は。

（答弁）現在でも遊園内の児童館活動事業や児童クラブの運営を保育協会に委託しているが、経費面、職員の効率的な運営と利用者に配慮した適切な対応を行うため、交通児童遊園の全体の管理を一元的に保育協会に委託していく。

建設委員会

★★ ㉙ 議案 ★★

（質疑）白川第二下水路の施工完了区間において、都市下水路の指定をその途中までとした理由は。

（答弁）法的に都市下水路として指定すべき区間は、市街化区域内となっており、白川第二下水路の完了区間で、市街化区域内と調整区域内との境までを指定した。

予算特別委員会

①議案

（質疑）全国でも実績があまりないPFI手法についての考えは。

（答弁）現在、どこの自治体でも財政状況は非常に厳しく、公共施設等の整備には少しでも有利な手法を取るべきである。その手法の一つがPFIであり、PFI手法の可能性は探るべきと考える。

⑥議案

（質疑）昨年七月にオープンした豊川駅東立体駐車場の利用実績は。

（答弁）七月から今年一月までの実績は、前年比較で二千四百二十六台、五・八パーセントの増となった。正月期には、フル稼働により待ち時間の短縮ができたものと考ええる。

⑩議案

（質疑）交通災害共済事業の廃止に伴う一般会計への繰出金について、その使い方は。

（答弁）この繰出金は、市民からの会費が主なもので交通安全のため有効に活用すべきである。そこで、ヒヤリ地図を基に各校区別に危険箇所を選び、カーブミラーや道路照明灯等の設置費用に充てる。

⑭議案

（質疑）医療ミスに対する情報公開の対応は。

（答弁）医療安全管理マニュアルに沿って、本人及び家族の同意が得られた場合、速やかに外部機関に報告することになる。

討 論

①議案

（反対）新年度予算は、乳幼児医療費助成制度の拡大など市民要望に沿った前進面もあるが、景気効果の薄い西部・豊川駅東土地画整理事業への繰出金や、住民不在で進められる豊川宝飯四町合併協議会への負担金など住民の福祉向上弱者への生活支援とは言えない事業が中心であり、反対する。

（賛成）新年度予算は、対前年比一・四パーセントの積極的なもので、地方分権の時代にあつて、自立できる自治体となるための人づくり施策を基盤として、歩いて楽しいまちづくりの推進、防災対策の対応など山積する課題に積極的に取り組まれたものと判断し、賛成する。

②議案

（反対）本事業の保留地処分金は、



豊川地区の景観にも配慮した
豊川駅東立体駐車場

地価の下落から不透明で、後年度の財政負担を考えると処分状況により見直しを行うのが重要である。全国的に大型開発の実態に即した見直しが求められている今、予定年度までに全事業をひたすら推進するには問題があり、反対する。

⑦議案

（反対）国民健康保険料の医療費分の値上げや本市独自の減免制度の率の引き下げは、低所得者の受診抑制につながる。市民の苦境にこたえ、減免制度等の継続こそ必要であり、反対する。

（賛成）新年度予算は、歳出の増大に対し国県の支出金の活用や一般会計の繰入金により適正な水準となっている。また、国保総合健康づくり事業や総合データバンク事業を推進するなど、国保運営の健全化と健康な市民生活を目指した予算と判断し、賛成する。

⑮議案

（反対）改正の中で、窓口センターの嘱託化は、センターの今後の役割を検討せず安易なもので廃止につながりかねない。また、学校給食調理業務の委託化による調理員

の削減は、給食の質の低下につながるなど問題があり、反対する。

（賛成）今回の改正は、行革プラン21に沿った取り組みであり、行政目標の達成のため必要となるのは増員し、合理化できるところは合理化しており、その結果による全体での削減と判断し、賛成する。

③議案

（反対）本事業は、現状の進捗率では期間の延長や事業費の大幅増が予想される。また、いまだに地域住民の十分な理解が得られないなど、市民への負担を考えると事業の中止や凍結、あるいは見直しを検討すべきであり、反対する。

（賛成）本事業は、十一年度から本格的な工事と家屋移転を行っている。徐々に新しい町並みができ、事業効果が現れている。厳しい財政状況だが本市の重要事業であり、早期の完成を望み、賛成する。



町並み形成が進む豊川駅東区画整理事業